

MORITA REPORT 2012

株主・投資家のみなさまへ

第79期報告書

2011年4月1日から2012年3月31日まで



MORITA GROUP

人と地球のいのちを守る



MORITA

証券コード:6455

モリタ トピックス

■ 快挙!! 林野火災用消防車が世界のデザイン賞をダブル受賞、モリタグループの 新商品とともに札幌で国内初出展

林野火災用消防車とは、消防車でありながら情報通信機能を充実させた“動く林野火災の情報発信基地”として2010年6月ドイツで開催された世界最大級の消防防災展に初出展し、モリタが世界に向けて提案した「コンセプトカー」です。その後、韓国と北京の消防展示会でも披露し、その機能はもちろん、斬新なフォルムが各地で賞賛され、世界三大デザイン賞と称されるなかのふたつ、「2011年度IDEA賞Commercial And Industrial Products部門」での“金賞”と、「2011年度レッドドット・デザイン賞デザイン・コンセプトMobility部門」での“ベスト・オブ・ザ・ベスト”のいずれも最高賞を受賞することができました。この林野



reddot design award
best of the best 2011

火災用消防車「コンセプトカー」を、今年6月に札幌市で開催された札幌国際消防・防災展で国内初出展いたしました。

また、2011年度のモリタグループの業績に大きく貢献した防災事業の主力商品、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」とアルミ製蓄圧式粉末消火器「アルテシモ」も同時に出展いたしました。モリタグループの独

自商品である「スプリネックス」は、設置工事・維持管理が簡素で導入しやすく、水よりも高い消火性能や、凍結に強く安全な消火薬剤を使用しているなどの特徴があり、スプリンクラーに代わる自動消火設備として、多数の導入実績を作っております。新型消火器「アルテシモ」は、2011年9月に市場投入した、モリタグループの消火器製造の技術を結集した、次世代向けの安全・安心な消火器です。視認性に優れた高いデザイン性と軽くて扱いやすいアルミ製容器を採用し、環境にもやさしい、これまでの消火器の常識を覆す強力な主力商品に育っています。



パッケージ型自動消火設備
「スプリネックス」



新型蓄圧式粉末消火器「アルテシモ」

■ モリタグループの社会貢献活動

東日本大震災が発生し、モリタグループは、私たちにいま出来ることは何か考えました。津波で多くの消防車両が流失した東北沿岸部では、消防力の早期復旧が課題であり、当社グループは、全国消防長会によって始まった中古消防車の寄贈活動に、車両・ポンプの整備と緊急車両の登録事務の分野において無償で貢献いたしました。平成23年11月には、その活動が評価され、消防庁から感謝状を授与されました。



また、防災事業では古くなった消火器の回収費から消火器1本につき2円を募金に充てるキャンペーンを実施。うち1円は、公益社団法人国土緑化推進機構を通じて東日本大震災被災復興支援に向けた「緑の募金」に寄付いたしました。また、もう1円は従来より実施している「エコウータン募金」として、特定非営利活動法人ボルネオ オランウータン サバイバル ファウンデーション 日本 に募金し、アジアの熱帯雨林再生に活用されています。

■ “MIYATA Care(ミヤタケア)”を ご存知ですか



ミヤタサイクルでは、お客様目線の安心アフターサービスプログラムとして、“MIYATA Care(ミヤタケア)”を平成23年6月からスタートし、「修理大歓迎のMIYATA CARE店」や「3年間盗難補償」、「3年間品質保証」などに取り組んでまいりました。昨秋からは、自転車搭乗中の万一の事故をサポートする「傷害保険サービス」のプログラムが新しく追加となり、さらに、これまで3年間であったフレーム・ホークの品質保証期間を6年間に延長し、安心して長くお使いいただけるアフターサービスプログラムを提供しています。健康・環境への意識の高まりから通勤・通学やレジャーなどに自転車を活用する愛好者が増加するなかで、今後もニーズにあった高付加価値商品の提供とサービスの拡充を進めてまいります。



新商品 EXクロス Tグリーン



新商品 フリーダム リキッドレッド

■新防災グッズ「愛119(あい いち いち きゅう)」販売開始

東日本大震災の大災害を受けて、「大切ないのちは、自分で守る」そのための防災グッズは何かと思案し、避難時や避難所でも使用できる防災ずきん&クッション



ション「愛119」が誕生しました。通常はクッション、いざという時には防災ずきんに変身する商品です。避難所では、広げると2人用、半分にたためば1人用クッションとして使用できるので、床からの寒さ予防に役立ちます。また、前部分と両サイドに反射布を付け、夜間や暗闇でも所在確認が可能です。スポーツ観戦、野外イベントでも使用できるシンプルなデザインで、モリタネットショップを始め防災グッズ専門店にて取扱い中です。



表紙 全国の小学生を対象とした第7回「未来の消防車」アイデアコンテスト最優秀賞 和田純弥さん（東京都世田谷区：小学3年生 ※応募時）の作品です。

トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社第79期の報告書をお届けするにあたり、営業の概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災から復興の動きが見えつつあるものの、世界経済の減速や円高の長期化等により、先行きは引き続き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、東日本大震災により未曾有の被害を受けた消防力の復旧や被災地で膨大に発生したがれき処理等への対応力が試される1年となりました。

このなかで、特に防災事業が順調に推移した結果、当連結会計年度の売上高は、前期比3,945百万円増加し、63,694百万円（6.6%増）となりました。また、営業利益は、防災事業の好調に加え、前連結会計年度まで赤字であった自転車事業及び産業機械事業が黒字転換したこともあり、前期比734百万円増加し、5,073百万円（16.9%増）、経常利益は前期比641百万円増加し、5,256百万円（13.9%増）、当期純利益は、減損損失473百万円、関係会社株式評価損102百万円等を特別損失に計上しましたが、前期比572百万円増加し、2,803百万円（25.7%増）となり、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益において過去最高を更新いたしました。

セグメント別の概況

■ 消防車両事業

消防車両事業におきましては、東日本大震災の影響により需要は漸増となったものの、平成21年度補正予算による特需の剥落があり、売上高は前期比170百万円減少し、31,417百万円(0.5%減)となりました。セグメント利益は前期比475百万円減少し、3,265百万円(12.7%減)となりました。

■ 防災事業

防災事業におきましては、パッケージ型自動消火設備“スプリネックス”の好調な販売に加え、消火器の法令改正に伴う需要の増加もあり、売上高は前期比2,840百万円増加し、16,343百万円(21.0%増)となりました。セグメント利益は前期比510百万円増加し、1,159百万円(78.5%増)となりました。

■ 産業機械事業

産業機械事業におきましては、東日本大震災に係るがれき処理に伴う需要の増加もあり、売上高は前期比994百万円増加し、4,332百万円(29.8%増)となりました。セグメント利益は前期比291百万円改善し、136百万円(前連結会計年度は155百万円の損失)となりました。

■ 環境車両事業

環境車両事業におきましては、部品販売及びメンテナンスへ注力した結果、売上高は前期比296百万円増加し、8,273百万円(3.7%増)となりました。セグメント利益は前期比102百万円増加し、300百万円(52.1%増)となりました。

■自転車事業

自転車事業におきましては、商品構成の見直しにより、売上高は前期比16百万円減少し、3,327百万円(0.5%減)となりました。セグメント利益は高付加価値商品の拡販に注力した結果、前期比281百万円改善し、207百万円(前連結会計年度は74百万円の損失)となりました。

対処すべき課題

経営環境はますます厳しさを増し、急激に変化していくものと予想されます。当社グループは、この変化に対応しつつ、メーカーの原点である「技術の向上」と「顧客満足の実現」に立ちかえり、顧客に支持される強いブランドづくりを目指します。そして、具体的な対処すべき課題は次のとおりであります。

- ①既存事業の収益力強化
- ②海外事業の収益拡大
- ③高付加価値製品の投入によるマーケットシェアの向上
- ④人材育成

当社グループは、経営のスピードアップ、収益力の強化により企業価値の一層の向上を目指してまいります。

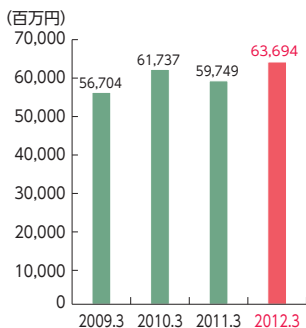
株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年6月

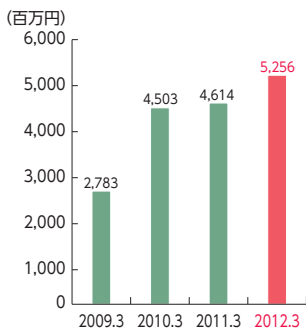
代表取締役社長 中島 正博

財務ハイライト(連結)

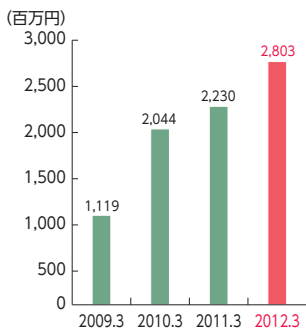
●売上高



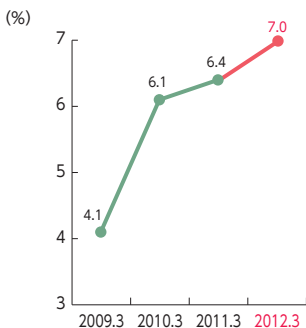
●経常利益



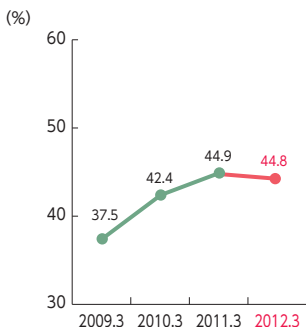
●当期純利益



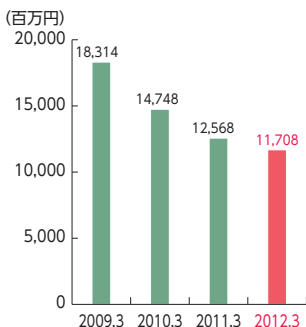
●総資産経常利益率(ROA)



●自己資本比率



●有利子負債



連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 (平成23年3月31日現在)	当 期 (平成24年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	34,909	40,948
固 定 資 産	36,855	37,103
資 産 合 計	71,765	78,051
負 債 の 部		
流 動 負 債	20,852	27,263
固 定 負 債	17,483	14,571
負 債 合 計	38,335	41,834
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	34,080	36,307
資 本 金	4,746	4,746
資 本 剰 余 金	3,743	3,742
利 益 剰 余 金	26,627	28,859
自 己 株 式	△1,036	△1,040
その他の包括利益累計額	△1,845	△1,350
その他有価証券評価差額金	△195	67
繰延ヘッジ損益	△100	0
土地再評価差額金	△1,428	△1,066
為替換算調整勘定	△121	△351
少 数 株 主 持 分	1,194	1,258
純 資 産 合 計	33,429	36,216
負 債 純 資 産 合 計	71,765	78,051

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当 期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
売 上 高	59,749	63,694
売 上 原 価	45,309	47,911
売 上 総 利 益	14,439	15,783
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	10,100	10,709
営 業 利 益	4,339	5,073
営 業 外 収 益	604	554
営 業 外 費 用	329	372
経 常 利 益	4,614	5,256
特 別 利 益	487	6
特 別 損 失	1,010	648
税金等調整前当期純利益	4,090	4,614
法人税、住民税及び事業税	1,829	2,222
法人税等調整額	△13	△480
少数株主損益調整前当期純利益	2,274	2,873
少数株主利益	44	69
当 期 純 利 益	2,230	2,803

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当 期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,366	5,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,028	△1,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,940	△1,314
現金及び現金同等物の増減額	1,397	2,293
現金及び現金同等物の期首残高	4,976	6,373
現金及び現金同等物の期末残高	6,373	8,667

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書（自平成23年4月1日
至平成24年3月31日）（単位：百万円）

	株 主 資 本				
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計
平成23年4月1日残高	4,746	3,743	26,627	△1,036	34,080
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△446		△446
当期純利益			2,803		2,803
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		△0		1	1
土地再評価差額金の取崩			△125		△125
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					—
連結会計年度中の変動額合計	—	△0	2,232	△4	2,227
平成24年3月31日残高	4,746	3,742	28,859	△1,040	36,307

	その他の包括利益累計額				少 数 株主持分	純資産 合 計
	その他 有価証券 評価 差額金	繰 延 ヘッジ 損 益	土 地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定		
平成23年4月1日残高	△195	△100	△1,428	△121	1,194	33,429
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△446
当期純利益						2,803
自己株式の取得						△5
自己株式の処分						1
土地再評価差額金の取崩						△125
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	262	100	361	△229	64	559
連結会計年度中の変動額合計	262	100	361	△229	64	2,786
平成24年3月31日残高	67	0	△1,066	△351	1,258	36,216

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

■ 概 要

商 号	株式会社モリタホールディングス
創 業	明治40年4月23日
設 立	昭和7年7月23日
資 本 金	47億4,612万円
大 阪 本 社	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
東 京 本 社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事 業 内 容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間 接業務の受託

■ グループ会社

株式会社 モ リ タ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 〔はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防 車両並びに特殊車両の開発・製造・販売〕
株式会社 モリタ防災テック	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階 〔消火器を中心とした各種防災機器の販売、 防災設備の設計施工並びに保守点検〕
株式会社 モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 〔リサイクル処理施設、その他各種ゴミ処理 施設の設計施工並びに各種大型油圧機械 の開発・製造・販売〕
株式会社 モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 〔衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・ 製造・販売〕
株式会社 モリタテクノス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号 〔消防車両・救助用資機材等のアフターサー ビス・メンテナンス並びに電子応用機械器 具・情報処理機械器具の開発・製造・販売〕
宮 田 工 業 株式 会 社	神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目1番1号 〔消火器を中心とした消火関連機器、消火 装置、その他各種防災機器・設備の開発・ 製造・販売〕
株式会社 ミヤタサイクル	東京都港区西新橋3丁目25番31号 〔各種自転車の開発・販売〕

株式会社 モリタ総合サービス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
株式会社 アルポ	静岡県磐田市上神増1479-1
株式会社 モリタユージー	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階
株式会社 モリタエンジニアリング	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社 北海道モリタ	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号
鹿児島森田ポンプ株式会社	鹿児島市松原町12番32号
株式会社 モリタ東洋	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
上海金盾特種車輛裝備有限公司	中国上海市浦東新区書院鎮麗正路1515号
南京晨光森田環保科技有限公司	中国南京市江寧經濟技術開發区 天元中路188号
四川森田消防裝備製造有限公司	中国四川省成都市温江区成都海峽兩岸科技园新華大道一段8号
康鴻森田(香港)有限公司	香港中環夏愨道10号和記大厦1909室

■ 役員

代表取締役社長	中島正博
取締役	中前島正博
取締役	北島村賢一
取締役	土谷和博
取締役	川口和三
常勤監査役	浅田栄治
常勤監査役	佐々木純
常勤監査役	早川尚男
監査役	松村和宜
執行役員	浦野ヒロ子
執行役員	坂本直久
執行役員	金岡真一
執行役員	村井信也

株主メモ

■ 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.morita119.com/kohkoku/index.html
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-176-417 (インターネットホームページURL) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

上場証券取引所 東京証券取引所 大阪証券取引所

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお問い合わせいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

人と地球のいのちを守る

MORITA

株式会社モリタホールディングス

大阪本社 〒544-8585
大阪市生野区小路東5丁目5番20号
☎06-6756-0100
東京本社 〒105-0003
東京都港区西新橋3丁目25番31号
☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>



UD

この冊子はユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしています。